

大野城市 議会

だより

2025 令和7年
No.171

発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和7年12月15日

9

9月定例会



大野城市議会
ホームページ



筑紫中央高校との議会報告会

中学生模擬議会



主な記事

- 9月定例会 P2
- 委員会レポート P4～6
- 代表質問 P7～9

- 一般質問 P10～15
- 議会報告会 P16
- 中学生模擬議会 P17

市民とともに歩む議会だより

次号172号
令和8年
2月15日発行

あなたの写真で
議会だよりの紙面を
飾ってみませんか？
(締切り 12月26日)

9月定例会

令和7年9月定例会を9月29日（月）から10月31日（金）まで開催
41の案件を審議し、全ての案件を可決、認定、同意、採択、承認しました。
審議結果の採決の様子は、大野城市議会ホームページ「令和7年第5回9月定例会」
(右の二次元コード) から映像を見ることができます。



審議結果一覧

令和7年9月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会	議決月日
第59号議案	大野城市公民館施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会	R7.10.31
第60号議案	大野城市立学校施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について	//	福祉教育委員会	R7.10.31
第61号議案	大野城総合公園の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	//	R7.10.31
第62号議案	工事請負契約の締結について（(仮称)防災危機管理センター建設他建築工事）	//	総務政策委員会	R7.10.31
第63号議案	工事請負契約の締結について（(仮称)防災危機管理センター建設他電気設備工事）	//	//	R7.10.31
第64号議案	設計施工一括契約の変更契約締結について	//	都市経済委員会	R7.10.31
第65号議案	財産の取得について（ノートパソコン等）	//	総務政策委員会	R7.10.31
第66号議案	財産の取得について（教育用タブレット端末等）	//	福祉教育委員会	R7.10.31
第67号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算（第5号）について	//	予算委員会	R7.9.29
第68号議案	令和7年度大野城市一般会計補正予算（第6号）について	//	//	R7.10.31
第69号議案	令和7年度大野城市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	//	//	R7.10.31
第70号議案	令和7年度大野城市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	//	//	R7.10.31
第71号議案	令和7年度大野城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	//	//	R7.10.31
第72号議案	令和7年度大野城市水道事業会計補正予算（第1号）について	//	//	R7.10.31
第73号議案	令和7年度大野城市下水道事業会計補正予算（第1号）について	//	//	R7.10.31
認定第1号	令和6年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致認定	決算特別委員会	R7.10.31
認定第2号	令和6年度大野城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	//	//	R7.10.31
認定第3号	令和6年度大野城市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	//	//	R7.10.31
認定第4号	令和6年度大野城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	//	//	R7.10.31
認定第5号	令和6年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について	//	//	R7.10.31
認定第6号	令和6年度大野城市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	//	//	R7.10.31
認定第7号	令和6年度大野城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	全会一致可決及び認定	//	R7.10.31
認定第8号	令和6年度大野城市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	//	//	R7.10.31
報告第8号	令和6年度大野城市健全化判断比率について	報告	—	R7.10.7
報告第9号	令和6年度大野城市水道事業会計資金不足比率について	//	—	R7.10.7
報告第10号	令和6年度大野城市下水道事業会計資金不足比率について	//	—	R7.10.7
報告第11号	令和6年度大野城市土地開発公社の決算について	//	—	R7.10.7
報告第12号	令和6年度公益財団法人大野城まどかびあの決算について	//	—	R7.10.7
報告第13号	令和6年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の決算について	//	—	R7.10.7
報告第14号	令和6年度公益財団法人大野城市スポーツ協会の決算について	//	—	R7.10.7
報告第15号	専決処分の報告について（公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について）	//	—	R7.10.7
報告第16号	専決処分の報告について（防犯灯支柱の倒壊を起因とした事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	//	—	R7.10.7
第74号議案	大野城市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する認可基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	福祉教育委員会	R7.10.31
第75号議案	工事請負契約の締結について（(仮称)防災危機管理センター建設他機械設備工事）	//	総務政策委員会	R7.10.31
請願第4号	日本政府に核兵器禁止条約の締結等への対応を求める意見書の提出を求める請願	全会一致採択	総務政策委員会	R7.10.31
意見書案第2号	日本政府に核兵器禁止条約の締結等への対応を求める意見書	全会一致可決	—	R7.10.31
第76号議案	大野城市教育委員会教育長の任命について	賛成多数同意 (賛成11・反対8)	—	R7.10.31
報告第17号	専決処分の報告について（投票所門標の転倒による車両損傷事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について）	報告	—	R7.10.31
報告第18号	専決処分の報告について（公用車の交通事故による損害賠償の額の決定及び和解について）	//	—	R7.10.31
決議案第2号	今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会設置に関する決議について	全会一致可決	—	R7.10.31
—	議員の派遣について	全会一致承認	—	R7.10.31

賛否の分かれた議案

令和7年第5回9月定例会 審議結果

会派名	自民大野城					公明党				未来フォーラム			市民クラブ		自民まどか		自民御笠			
議員氏名	山上 高昭	平井 信太郎	平田 不二香	岡部 かおり	原田 真光	大塚 みどり	井上 正則	河村 康之	神田 徳良	松崎 百合子	永利 恭子	河野 敏生	松崎 正和	福澤 信光	森 和也	井福 大昌	関井 利夫	中村 真一	中村 慎一朗	松田 美由紀
第76号議案	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	-	●	○	○

(○：賛成、●：反対、退：退席、-：議長は表決に加わらないため)

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第4号	健康保険証とマイナ保険証の併用を求める陳情
陳情第5号	令和8年度 理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

議会の動き

- 8月22日 中学生模擬議会
- 9月12日 会派代表者会議
- 22日 議会運営委員会
- 29日 本会議(1日目)
予算委員会
全員協議会
広報委員会
- 10月7日 議会運営委員会
本会議(2日目)
会派代表者会議
- 8日 総務政策委員会
福祉教育委員会
- 14日 都市経済委員会
- 15日 予算委員会
- 16日 会派代表者会議
福岡県南市議会議長会(朝倉市)
- 17日~21日 決算特別委員会
- 23日 福岡県市議会議長会(豊前市)
- 27日 本会議(3日目)
- 28日 本会議(4日目)
全員協議会
会派代表者会議
- 31日 議会運営委員会
本会議(5日目)
今後の学校給食のあり方に
関する調査特別委員会
議会運営委員会
予算委員会
会派代表者会議
全員協議会
- 11月1日 議場見学会
- 4日~6日 福祉教育委員会視察
- 6日~7日 中部十一市議会議長会正副議長・局長研修会(長崎市)
- 7日 町村議会広報研修会(広報委員)
- 8日 議会報告会
- 11日 広報委員会
中部十一市議会議員研修会(古賀市)
- 12日~13日 議会運営委員会視察
- 17日 広報委員会
- 18日~19日 総務政策委員会視察
- 18日~20日 都市経済委員会視察



議会人事

10月31日付、関井 利夫議長の辞職に伴う選挙により、新たに議長が選出され、予算委員長が交代となりました。

- ◇第41代 議長
平井 信太郎
- ◇予算委員長
大塚 みどり



平井議長

10月31日付、特別委員会が設置されました。

今後の学校給食のあり方に関する調査特別委員会

- ◇委員長 河村 康之 ◇副委員長 岡部 かおり
- ・大塚 みどり ・河野 敏生 ・山上 高昭
- ・松崎 百合子 ・松崎 正和 ・中村 真一
- ・中村 慎一朗 ・井福 大昌

視察来庁

★ 青少年の居場所「ユープレ」について
(11月5日 東京都墨田区)

★ 地域包括ケアシステムについて
(11月12日 千葉県千葉市)

(仮称)防災危機管理センター工事と財産取得 総務政策委員会

第62号、第63号、第75号議案 工事請負契約の締結について



(仮称)防災危機管理センター建設工事に係る建築工事、電気設備工事及び機械設備工事の請負契約を締結するもの。建物本体は鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)で、免震装置を備えており、地上4階建て、延べ床面積は約2,450㎡となっている。主な設備として、非常用発電設備や太陽光発電設備等を備えている。

問 財源はどのようになっているのか

答 緊急防災・減災事業債として、充当率が100%、交付税措置が70%の市債を借り入れる予定としている。

問 緊急防災・減災事業債はどのような条件で利用できるのか

答 防災に関わる建設事業及び備品の購入等に対して発行できる。

問 緊急防災・減災事業債の対象にならない部分はあるのか

答 約23億8000万円の事業費のうち起債対象となる金額の目安は約20億円であり、残りが一般財源などからの支出になる。

問 令和7年度に工事が開始するが場所や駐車場への影響は

答 建設予定地は市役所南駐車場であり、南駐車場及び東駐車場の半分を仮囲いし、工事を行う予定である。駐車台数としては70台程度減ると想定している。

第65号議案 財産の取得(ノートパソコン等)について



職員が業務で使用する事務用パソコン等を購入し、老朽化したパソコンを計画的に更新するもの。

問 更新されるパソコンの基準は

答 更新計画により、おおよそ7年程度使ったものを更新していく。ただし、老朽化したものを中心に換えていくため、毎年160台を更新する計画としている。

小中学校のタブレット端末の購入について 福祉教育委員会

第66号議案 財産の取得(教育用タブレット端末等)について



県内の自治体で構成されている福岡県GIGAスクール推進協議会で教育用タブレット等の共同調達を行うもの。2カ年での調達を予定しており、令和7年度に9301台、令和8年度に2129台、合計1万1430台の購入を予定している。取得予定価格は6億2073万3630円である。

問 共同調達を行うメリットは

答 まとめて契約することで、コスト削減や生産性の向上、競争力の強化などのメリットが図られる。

問 共同調達ではなく各自治体単独での購入はできないのか、またリースはできないのか

答 共同調達することが国の補助の要件となっており、補助金を活用するためには各自治体単独での購入はできない。また、リースの場合も国の補助の対象外となる。

問 国の補助割合は

答 基準額を5万5000円とし、その3分の2が補助額となる。

問 端末更新の時期は

答 おおむね5年を予定しているが、今後の計画の中で決めていく。



高架下の施工契約内容が変更

都市経済委員会

第64号議案

設計施工一括契約の変更契約締結について



大野城市高架下等整備運営事業において、設計から施工までを一括して行う契約(DBO方式のうち設計・施工部分)の契約内容を変更するもの。

問 変更の理由は

答 人件費や資材価格の上昇への対応として、約1億1500万円の増額。また、鉄道の高架構造物等への影響を避けるための地盤対策工法の変更と、工事期間中の安全対策を追加するものとして2億500万円の増額。原契約の約31億4千万円に対して、変更契約額は合計で約3億2000万円の増額となる。

問 高架下の工事は他市でも同様に行われているか

答 鉄道事業者ではなく市が高架下で建築工事を行うのは全国的にも珍しく、西鉄においても本市が初の事例となることから協議を慎重に進めている。

問 工期や支払いはどうなっているか

答 工期は令和9年3月31日まで。支払いは3回に分けて行い、設計及び工事の進捗に応じて支払う契約としている。



白木原高架下公園イメージ図

带状疱疹接種、北市民プールについて

予算委員会

第68号議案

令和7年度大野城市一般会計補正予算(第6号)について



带状疱疹定期予防接種者数が当初の見込みを上回ることから委託料を追加するもの。及び北市民プールの電気料について令和6年度まで適用されていた電気料金単価の大規模契約割引が廃止されたことに伴い、予算の不足が見込まれるもの。

問 接種者数の見込みが602人から2172人に増えているが、対象者は65歳以上の方だけか

答 60歳から64歳で一定の障がいのある方と65歳以上の高齢者の方が対象である。

問 接種者数の見込みが3倍以上に増加しているが、どのように分析しているか

答 定期接種が全国的に始まったことでテレビやメディアで報道されたことや、本市でも広報誌や医療機関等への周知を行ったことにより、予想以上に見込みを上回る方が予防接種を受けている。想定外の見込みであったが、沢山の方に受けていただいてよかったと思っている。

問 8月上旬から北市民プールのウォータースライダーが使えなかったと聞いたが何故か

答 ウォータースライダーは、老朽化が進んでおり、今年度開館する前に補修工事を行ったが、利用期間中に塗装が剥げてきており、事故につながる危険性を鑑みて中止を行った。

問 ウォータースライダーはたくさんの市民の方に楽しんでいただいている。今後の対応はどのように考えているか

答 点検は毎年開館前に行っている。今後の補修については来年度のオープン前までにきちんと整備を実施する。

令和6年度決算

決算特別委員会

認定第1号議案

令和6年度大野城市一般会計歳入歳出決算認定について

問 将来の健全な財政運営を維持するための対応は

答 令和6年度の収支は黒字のため健全な財政運営といえる。今後も市債残高を200億円以内に抑え、基金積立も行い健全な財政運営を継続する。

問 経常収支比率の今後の見通しは

答 経常収支比率が上昇した理由は、扶助費・人件費・物価高騰による支出増が主な要因である。支出の増加に対し、市税等の収入も増加しており今後も大きく変動する見込みはなく、特に問題はないと認識している。

問 古代日本の「西の都」活用事業の今後の計画は

答 「西の都」を構成する県及び7市町による協議会で枠組みを維持し、「西の都」の魅力を広く発信していく事業の推進を検討中である。

問 敬老祝い金の今後の予定について

答 敬老事業は継続事業と考えているが、配布方法や対象年齢など、地域の意見を踏まえ事業の在り方や見直しを検討する。

問 男女平等推進センター備品更新事業について

答 備品購入は人権男女共同参画課が担当し、運営はまどかぴあが行う。印刷機は購入と保守を含めた契約をすることにより安価に購入できた。

問 環境処理センター管理運営関係費の減額要因は

答 令和6年度から委託業者が変更となり、剪定枝の処理費が10kgあたり109円から105円に減額されたためである。

問 プレミアム付商品券の状況と電子化推進に向けた施策について

答 紙の商品券の利用店舗が電子版の約2倍あるため、商工会と連携し電子版の利用促進策を検討中である。

問 コミュニティバスの現状や今後の交通施策について

答 運転手不足の影響で、現在のルートの維持も難しくなっており、運行の継続や運賃の見直しについて検討を進めている。市内全域の交通ネットワークの再編に向けては、高齢者が多く坂道も多い南地区で、デマンド型交通の導入を視野に入れて進めている。

問 水泳授業委託事業の成果と今後の計画は

答 令和6年度は小学校2校で水泳授業の民間委託を試行し、高評価を得た。令和12年度頃までに全10校へ拡大予定。中学校は部活動等を踏まえ、段階的に検討したい。

問 中学校部活動地域移行事業について

答 令和6年度に大野中学校から地域移行を開始し、令和7年度は大利・大野東中学校、令和8年度は平野・御陵中学校で実施予定。教員アンケートでは、交代制による負担軽減が評価された。

問 不登校児童生徒に対する相談支援(訪問型)について

答 訪問型支援を通じて保護者と相談・連携し、子どもの興味・関心に寄り添うなどしながら継続的に支援を行っており、高校進学などの意欲につながる成果も見られる。

認定第3号議案

令和6年度大野城市介護保険特別会計決算認定について

問 チームオレンジ事業について

答 認知症の方や家族の要望に応じ、協力隊員が2名1組で自宅を訪問し、話し相手や趣味活動などの個別支援を1時間程度実施。申請はケアマネジャーによるものが多い。利用頻度は月2回が最多で、柔軟な対応をしている。



代表質問

～大野城市長の考えを問う～

各会派の
タイトルにある
二次元コードから
映像を見ることが
できます。



代表質問とは?・・・市長の施策方針及び所信表明等に関して、会派から代表者を立てて質問を行います。

会派名	所属議員	内容
自民大野城	<ul style="list-style-type: none"> ・山上 高昭 ・岡部 かおり ● 質 平井 信太郎 ・原田 真光 ・平田 不二香 	1. 所信表明について
公明党	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚 みどり ・河村 康之 ● 質 井上 正則 ・神田 徳良 	1. 令和7年所信表明について
未来フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 質 松崎 百合子 ・河野 敏生 ・永利 恭子 	1. 所信表明について
市民クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・松崎 正和 ● 質 福澤 信光 	1. 所信表明について



映像は「11511」

堤新市長 所信表明について

自民大野城

問 令和7年3月の中学生の食事に関するアンケート結果では、生徒の85%、保護者64%、教職員91%が「希望に応じて選べるのが良い」と回答している。選択制給食は全員制給食より多くのメリットがある。なぜ全員給食にこだわっているのか

答 選択制給食には良い点もあるが、課題もあり、解決を図る必要がある。生徒や保護者、学校、議員の皆様と協議を重ね、ご理解を頂き移行の検討を行う。

問 ペロブスカイト発電の採用時期と想定している施設はなにか

答 現時点で、ペロブスカイト発電には課題があり実用段階に達していないため、導入の具体的検討には至っていない。情報収集に努め、実用化の見通しが立てば、導入方針を策定し、持続可能なまちづくりの実現に向けて取り組む。

問 「学び合い」により「そろえる教育」から「伸ばす教育」へとすることでなぜ、生徒の学力が上がるのか

答 「学び合い」とは子ども同士が課題達成のために協力して理解を深めあうという活動で、教える側は自分の知識が整理され、教わる側は分からない点を尋ねるなどして思考力や表現力が養われ、学力の向上が期待される。

問 「学びの多様化学校」は来年4月に開校するが、遠距離の南地区や東地区の子どもに対する移動手段の確保等の対応は出来ているか

答 学区を市内全域にすることから、通学方法は徒歩以外にも自転車や公共交通の利用、保護者による送迎も認められていく。



改修後の瑞穂町集会所で開校



映像は「ひびく」

堤新市長の所信表明について

公明党

問 高齢者移動支援としてデマンド型交通を導入する考えは

答 高齢者が多く住み坂道が多く交通空白が点在する地域には、令和9年度に導入を予定している。

問 敬老祝い金の一部をデマンド型交通の予算へ振替える考えは

答 地域の意見等も踏まえ、支給対象者や金額の見直しを進める。見直しにより他事業へ活用できる費用が生じた場合には、デマンド型交通による高齢者の移動支援を含めた高齢者のための施策に活用したい。

問 災害時におけるドローンによる避難所等への物資輸送のほか、防犯・インフラ点検・見守り・不法投棄対策への対応にドローンを活用する考えは

答 ドローンの活用は、航空法等の法令で使用が制限されるが、災害時は人命救助など緊急性の高い事案に限り法規制の適用が除外される場合がある。災害時の有効活用について、調査・研究を進めていく。



映像は「ひびく」

新たな移動手段、南地区に令和9年度導入

未来フォーラム

問 今回の堤新市長の誕生は、「一日も早い中学校給食を実現したい。」との民意が示された結果と言える。全員制給食は、栄養バランスが考えられた食事を全員に提供できる。理想の食の環境整備に向けて、自校式やオーガニック給食など、専門家も含む委員会を設置して可能なところから実施しては

答 現在は全員制への移行の検討段階であり、まずは当事者や市議会の皆様と協議が必要と考えている。その後は生徒や保護者によりよい給食制度になるよう専門家も含めた検討委員会等においても検討を行うことになると考えている。

問 公共交通の強化は、坂道が多く高齢化が進む南地区において切実な課題である。南地区へのコミュニティバス等導入の見通しは

答 コミュニティバス事業は運転手不足等により南地区での新たなルート構築は難しいが、デマンド型交通など新たな移動手段については、令和9年度に導入していく。

問 こどもの人権、特に意見表明権を尊重するまちづくりへ向けて、こどもの権利条例の制定は

答 こどもの権利保障について「夢と未来のこどもプランⅣ」の基本方針に明記し施策に取り組んでいる。今後は、こどもの権利に関する理念をより明確にし、先進自治体の調査研究を行い、関係団体などと協議を重ねながら、こどもの権利条約制定の必要性を含めて検討したいと考えている。





映像は「まちの」

所信表明について

市民クラブ

問 「コミュニティバスのルート変更の検討」を行うとのことだが、南地区・中央地区の生活道路を含めたルート構築の考えはあるのか。

また、「すべての世代の暮らしを支え地域の足となる」ことを目指す、とのことだが実現の目標はいつか

答 現在、路線バスが運行している区域にまどか号を運行させた場合、路線バスの撤退につながるため、南地区・中央地区での新たなルート構築は難しいものとする。ただし、高齢者が多く住み、坂道が多く、交通空白が点在する地域においては、デマンド型交通など、新たな移動手段を令和9年度に導入していく。

問 「大野城市をアップデートしたい」とのことだが、具体的に何をどのようにしたいのか考えを伺いたい

答 大野城市をアップデートするとは、これまでの市政をベースに、各施策の更なる改善・改良を図っていくことである。

その一つとして、子育て世代の保護者の更なる負担軽減や、子どもたちの成長を支えていくための取組を進めていく。



傍聴席への 字幕表示モニター を設置しました

議場のバリアフリー化の一環として、傍聴席の車いす席にモニターを設置し、AI音声認識により本会議の発言を字幕表示しています。



5階傍聴席から撮影

12月議会開催予定 — 令和7年12月定例会 (予定) —

12月	1日 (月) 10:00～	本会議	提案理由説明	11日 (木) 9:30～	本会議	一般質問
	4日 (木) 10:00～	本会議	質疑・付託	12日 (金) 9:30～	本会議	一般質問
	5日 (金) 10:00～	各常任委員会	9日迄	17日 (水) 10:00～	本会議	報告・討論・採決

～これからの大野城を問う～

一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員の
タイトルにある
二次元コードから
映像を見ることが
できます。



9月定例会

委員会レポート

代表質問

一般質問

議会報告会

中学生模擬議会

氏名	件名
松崎正和	・大野城市役所内の職場環境について ★中学校給食について
平田不二香	・安心して産み、育てられる大野城市を目指して ★JR大野城駅の西側エリアの土地活用について
中村慎一郎	★ハラスメント対策について ・はしかワクチン(麻しん風しんワクチン)接種補助について ・地域企業の経済活性化について
森和也	★災害への備えについて
岡部かおり	★子ども医療費助成拡充について
山上高昭	★お金のかからない選挙を目指して
河野敏生	★不登校児童生徒への対策について ・来年度からの中学校35人学級について ・小中学生の人権感覚涵養のための支援について
永利恭子	★魅力ある職場づくりを市民サービスの向上に繋げる ・誰ひとり取り残さない中学校全員制給食に向けて
大塚みどり	★だれも取り残さない支援体制の強化(ひきこもり支援・地域防災力)について
原田真光	★大野城市職員の働きやすい環境整備について ・放課後こども事業ランドセルクラブについて
井福大昌	★地球沸騰化時代から市民を守るために



映像はこちら

中学校全員制給食の早期実現を!!

まつさき まさかず
松崎 正和



問 今回の市長選挙の争点は、中学校給食について選択制の継続か、全員制への移行かであった。投票率も前回に比べ大きく上昇しており、全員制給食の実現を求める若い方々の投票行動によるものと推察している。獲得票数は僅差であったが、給食問題に関しては圧倒的に全員制給食を支持する市民が多かったということである。堤市長は、全員制給食の実現を公約として当選したという結果を受け、中学校給食を今後どのように進めていこうとするのか

答 さきの市長選挙において、中学校給食の在り方について選択制から全員制への移行を公約として掲げ、市民の皆様から一定の支持をいただいたことから、今後、全員制給食への移行の検討を真摯に行っていく。検討に当たっては当事者に説明を尽くし、意見を聴取し、皆様のご理解をいただきながら、理想的な中学校給食の実現に向けて努力していく。





映像は「まちら

九大筑紫キャンパス内にアリーナを!

ひら た ふ し か
平田 不二香



問 JR大野城駅西側は、九州大学筑紫キャンパスや本市の学校が集まる文京エリアである。現在、九州大学では、グラウンド部分の民間活用の検討が進められている。この駅に近いという利点を活用し、多機能型スタジアムの整備を検討することはできないか。施設が老朽化し、交通アクセスという課題を抱えるまどかパークとの連携・共存を図り、スポーツの他、防災としての機能や、大学との連携、地域交流によるにぎわい創出を目指すことができるのではないか。当該エリアの地区計画、九州大学との連携協定内容及びこの提案への見解は

答 地区計画は、にぎわいの創出、産官学連携の強化等をコンセプトに策定中である。本市では、九州大学と産業の振興や地域課題解決などを目的に連携協定を結び、令和6年度には14件の事業を実施しており、当該土地の有効活用に向けた協議の場にも参加している。スタジアム整備の意見も参考にしながら、九州大学と連携し、地域に有益となる活用を検討していく。



映像は「まちら

みんなでNO!ハラスメントをめざして

なか むら しん いち ろう
中村 慎一郎



問 ハラスメント対策の現状は

答 ワークショップを通して関係団体や市民から意見を聴取し、ハラスメント防止条例の制定を進めている。また(仮称)コンプライアンス推進室の設置について、本市事務改善委員会で検討している。さらにハラスメント対策委員及び相談員の対応力強化を図るため研修を実施しているほか、全職員を対象とした研修や管理職を対象とした研修も実施する予定である。

問 ハラスメント対策のビジョンについて市長の見解は

答 市役所内部の問題で終わらせるのではなく、社会問題、人権問題として市民全体で考えていく契機として、ハラスメント事象に精通した専門家の意見も聞きながらハラスメントのないまちづくりにつなげていきたい。

問 商工会及び市内事業所に、メンタルヘルスマネジメントの重要性と導入の提言や告知、PRを検討できないか

答 メンタルヘルスマネジメントの普及促進は、地域全体としてのハラスメント防止及びメンタルヘルス対策の推進に重要な取組である。市内事業者に対し、商工会をはじめとする関係機関との連携を図り、条例の内容や意義について分かりやすく発信するとともに、メンタルヘルスマネジメントの周知、啓発、導入の促進に取り組む。





災害への備え

災害への備え、指定避難所のトイレは？

もり 森 かず や 和 也

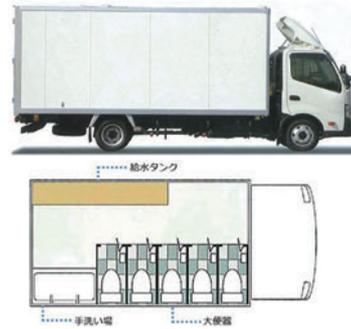


問 能登半島地震の初動対応については、被災者へ必要な物資を適時に届けられるか、生活環境の整った避難所をいかに運営していくかが大きなポイントであると感じた。本市の指定避難所におけるトイレの最新の数量は

答 昨年の3月時点と比べて、トイレの大便器の総数は、506基から508基へと2基増加しており、そのうち洋式は398基から406基へと8基増加している。マンホールトイレは総数に変更はなく、市役所に5基、コミュニティセンターには南に5基、中央に4基、東に5基、北に4基の合計23基となっている。簡易トイレは総数に変更はなく46台で、備蓄計画に基づき、今年度新たに55台を購入する予定としている。また、凝固剤付便袋は、4900回分から7万7700回分へと増量している。

問 トイレトレーラー・トイレカーを多くの自治体が装備して、災害が起きた地域にすぐに駆けつけ、互いに助け合うことが大切だと考えている。本市においても、トイレトレーラー・トイレカーを是非装備してもらいたいと思うが、市長の考えは

答 トイレカー導入については、被災地での活用事例などから有効性を十分に認識しているところであり、引き続き調査研究していく。



大型トイレカーの一例



映像は「しづら」

高校生も医療費無料に！！

おか べ 岡 部 か お り



問 医療費助成について、筑紫地区では本市、筑紫野市及び那珂川市の3市だけが中学生以下の通院及び入院を無料として、足並みを揃えている状況である。大野城市シティプロモーションでは、「子育て世代に選ばれるまちづくり」が掲げられているが、春日市は18歳まで医療費を無償化しているのに対し、なぜ大野城市は中学生までなのか

答 子ども医療費助成の拡充については、筑紫地区5市で足並みをそろえるため、令和4年度から協議してきた。春日市と太宰府市が先行して拡充したが、本市、筑紫野市、那珂川市は、それぞれの財政状況などを踏まえ中学生までを対象とした。子育て世代の医療費負担は、経済的に大きな負担となる場合もあり、支援の重要性は認識をしている。今後、財政状況や、医療費の動向を注視し、医療費助成のさらなる拡充も視野に入れ、多角的に検討していく。

問 子ども医療費助成を拡充することで、住みやすい、子育てしやすいまちとなり、本市への人口流入が増加すると考えられる。市民の切実な声を踏まえ、18歳まで医療費助成の拡充を前向きに検討できないか、強く要望する。

答 子ども医療費は社会保障制度の一つであることから、地域間で差が生じないように各市の動向を注視していく必要がある。今後の医療費の助成については、医療費の動向や財政負担の推移、筑紫地区各市の状況を慎重に見極め検討していく。

大野城市の子ども医療

R7年
10月から

中学3年生まで
入院・通院 無料！

大野城市ホームページより



映像は「11月1日」

適切に利用されているのか!! 公共施設

やまがみ
山上たかあき
高昭

問 堤市長は、令和7年8月31日の市長選挙告示日に、大野城まどかぴあ多目的ホールにて、出陣式をした。その際の大野城まどかぴあ使用許可書に記載された内容及び許可条件は

答 通告外の別の質問なので、回答を控える。

問 どのような許可が下りたかというのは、使えるか使えないかという核心部分であり、通告の趣旨にもものっっているもので、もう一度回答を

答 (公財)大野城まどかぴあ個人情報保護規程により、外部提供できる情報ではないため答えられない。

問 堤市長の見解は

答 質問の内容とお金のかからない選挙との関係性があるのか理解しがたい。まどかぴあを利用するのであれば、私と同じように利用申請を行ってはどうか。

問 再度になるが、どのような許可がされたのか

答 質問の趣旨が明確でないため、開示に対する同意はできない。

問 まどかぴあで出発式はできるのか。

答 まどかぴあへの申込み等については、規定に基づくものであれば貸し館を行っており、そこに選挙管理委員会が何ら介入することはない。選挙管理委員会の役割は公正な選挙の事務を行うことであり、公職選挙法に抵触する、あるいは違反行為であるということ判断するのは警察機関になるため、選挙管理委員会が判断することはない。



大野城まどかぴあ



映像は「11月1日」

大野城市学びの多様化学校に小学生枠を

かわの
河野としお
敏生

問 2024年度の本市の中学生で不登校状態にある生徒は、中学生約3000人のうち299人である。一方、本市の小学生の不登校状態にある児童は、2014年度の22人から2024年度には214人と実に10倍になっている。中学生だけでなく、小学生の不登校児童の爆発的な増え方も危機的状況にある。2024年度の本市の不登校の児童生徒をA群(年間欠席日数30~89日)、B群(90~179日)、C群(180日以上)と分類した場合、それぞれ何人が

答 A群の小学生は144人、中学生は124人、B群の小学生は54人、中学生は127人、C群の小学生は16人、中学生は48人である。

問 児童生徒の危機的現状をどのように改善し、不登校を生まない学校づくりをどうすすめるか

答 不登校の児童生徒支援として、学びの多様化学校を創設する。また、全ての学校で子どもが主体となる授業づくりの充実を図り、子どもが楽しいと思える授業づくり、学校づくりを進める。

問 学びの多様化学校に小学生枠も設けるべきでないか

答 小学生は、その後の義務教育の期間が長く、きっかけがあれば発達段階的に比較的復帰しやすいことから、できる限り学校から切り離さない方法で支援したい。しかし、学ぶ意欲はありながら、既存の学校に適合できず不登校となっている児童もいるため、小学生を対象とした学びの多様化学校についても、今後、調査・研究を進める。

事業の背景:加賀市 不登校の現状分析



欠席数で一旦ラインを引き、A群、B群、C群で困難度を分類する。(7日以上を予備軍に)

年間出席日200日うち、週1日休みで欠席40日。
社会との接点がないのか? つながりたいのは?

NPO法人カタリバより引用



映像は「ひきこもり」

魅力ある職場づくりで市民サービス向上へ

ながとし きょうこ
永利 恭子

問 市の職員定数は590人だが、4月1日時点の職員の実人数は

答 令和5年及び令和6年は459名、令和7年は453名である。

問 時間外勤務が3か月連続で月80時間を超えた職員数及び月100時間のデッドラインを超えた職員数は

答 令和6年度に月80時間を超えた職員は延べ47人、実人数は30人。月100時間を超えた職員は延べ14人、実人数は13人である。

問 令和6年度の年次休暇の取得日数が10日未満の職員数は

答 132人である。

問 ハラスメント条例の制定理由は

答 令和7年3月に提出されたハラスメント事案に関する第三者調査委員会調査報告書で5件の事案が認定されたため、全市的にハラスメントをなくしていくための基本理念として定めるもの。

問 市長などの特別職や職員に絞った条例をつくるべきでは

答 市民の皆様とハラスメントについて共有できるハラスメントの基本理念となる条例を定めていくことが重要で、その後に具体的な対応に関する指針等をつくっていく必要がある。

問 対象を市役所関連に特化した常設の第三者機関が必要では

答 第三者による調査機関については、他自治体の事例も参考にしながら検討する。

問 包括的なハラスメント条例で市役所内のハラスメントが根絶できるか

答 専門部署の設置や研修の強化など重層的な取組を進めていくことで市役所も含めた全市的なハラスメントの根絶につながる。本市に関わる全ての人々が被害者や加害者にならない社会の実現につながるよう条例の制定を進めている。



映像は「ひきこもり」

専門職導入、ひきこもり相談体制の強化へ

おかつか みどり
大塚 みどり

問 福祉サービス課が対応したひきこもり相談の年齢層や件数、長期化や高齢化の傾向は

答 令和5年度は30代が1件、令和6年度は20代が1件、40代が2件、50代が3件の計6件、令和7年の9月末までは40代が1件、50代が1件の計2件。ひきこもりの期間は2～3年が2件、約5年が2件、10年以上が5件で、40代・50代の相談が多く、長期化の傾向がみられる。

問 ひきこもり相談に関わる専門職には、どのような職種があるか

答 国の取組では、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師、公認心理師、臨床心理士などの資格を持つコーディネーターにより相談支援を行うことが示されている。

問 福祉サービス課でのひきこもり相談には、どのような方が対応しているか

答 事務職の正規職員が主に対応している。

問 市のホームページで「ひきこもり」と検索しても対象者が限定的で相談しにくいとの声があるが、市の対策は

答 生活困窮者自立支援事業とひきこもりに関する相談を分けて周知するなど、改善を図る。

問 相談者に寄り添い的確な支援を行うには、専門職の関与が必要では

答 支援には多様な対応が求められるため、専門職の関与は効果的と考える。

問 ひきこもりに特化した相談窓口の設置や専門職の体制強化について、市長の見解は

答 市民に分かりやすい相談体制の構築と支援体制の充実に取り組み、ひきこもりに関する相談窓口の設置や専門職の体制強化について、他自治体の先進事例や取組状況等を調査し検討する。





映像はこちら

職員が働きやすい環境作りを目指して

はらだ まさみつ
原田 真光



問 令和5年度の計画で、5箇年で79名の職員増としているが更なる増員が必要だと考えるがいかがか

答 79名の増員はデジタル化の進展や市民ニーズの変化、業務量など十分留意しながら、計画的な採用を進めていく。また、増員後の採用計画については、社会情勢や財政状況、年齢構成などの変化等を総合的に勘案した上で、改めて検討していく。

問 本市では事業施策のスクラップ&ビルドのスクラップが積極的にできていなかったように思える。スクラップの推進が必要だと考えるが市長の見解を伺う

答 人員や予算などの限られた経営資源を効果的に活用するためには事業の廃止や縮小といった見直しも必要であり、これまでも公共サービスDOCK(ドック)事業を活用し、事業の見直しを進めてきた。今年度から全庁的な取組として、各課からの提案に基づき既存事業の廃止や縮小を含む見直しの検討を行う仕組みを導入し、事業の再整理を進めているところである。

問 「市長は職員と一緒に働くパートナーである」という考えは大変素晴らしいものであるが、この職員の中に、例えば、ランドセルクラブの支援員等は含まれるのか市長の見解を伺う

答 委託先であり職員ではないということになるが、大野城市の子どもたちを見守り、育成していくという意味では、一緒に取り組んでいくパートナーだと認識している。

問 働き方改革として、週休3日制及びフレックスタイム制の導入、並びに副業の容認が必要だと考えるがいかがか

答 週休3日制、フレックスタイム制、兼業の制度導入をはじめ、国や他自治体の事例等の研究を進め、本市に即した働き方改革を実現していく。



映像はこちら

地球沸騰時代に市民を守る

いふく だいすけ
井福 大昌



問 本市での熱中症による救急搬送の件数は。特に学校での緊急搬送件数は

答 令和6年度は70件、令和7年度は9月末時点で40件となっている。このうち学校で発生したケースは、令和6年度、7年度ともに1件ずつとなっている。

問 熱中症対策として、学校での水分補給はどうしているか。この暑さで、水筒一つでの登校ではもう足りなくなってきたという子どもたちと保護者の声が多くなっているが、冷水機、自動販売機、ウォーターサーバーなどを設置している学校はあるか

答 小中学校には冷水機及びウォーターサーバーは設置していないが、全ての中学校と大野小学校屋内運動場には自動販売機を設置している。

問 現在、市が独自で行っている具体的な酷暑対策には何があるか

答 クーリングシェルターは、誰もが一時的に暑さから避難・休息できる場所であり、本市では、市庁舎やコミュニティセンター、公民館などの市内公共施設36か所、エフコープ大野城店やイオンショッピングセンター大野城など、民間の商業施設3か所の合計39か所を指定している。また、熱中症による死亡者の割合は、例年、高齢者が8割以上を占めていることから、高齢者の方々に向けた熱中症対策のチラシを作成し、地域包括支援センター職員の家庭訪問時や高齢者が集まる場及び市役所窓口で配布しているほか、後期高齢者医療新規加入者への通知にも同封し注意喚起を行っている。



議会報告会

令和7年7月28日(月)に県立筑紫中央高校との議会報告会(意見交換会)を実施しました。政治・議会・選挙の共通テーマの他に、まちづくり、教育、ライフプランなどについて活発な意見交換が行われ、今年もたくさんの意見をいただきました。

政治・議会・選挙

- 学校の授業だけでは選挙についてわからない
- 比例代表制など、政治の仕組みが難しい
- もっと身近に、政治や政治家のことを知れるようにしたい
- 投票先がわからないので、政策をたくさん知りたい
- 若い人に向けてwebで情報発信してほしい
- 選挙公報もwebを利用してはどうか
- TikTokでも選挙のことが流れて来るので見る
- なぜ紙で投票するの?webで投票できないの?
- 駅、商業施設で投票できるようにする
- 学校に投票所ができたらい
- 選挙割やお菓子のプレゼントをしたら?



ライフプラン

- 県内の大学に実家から通学したい
- 福岡で働きたい
- 1人暮らしをしたい



教育

- クーラーのある自習スペースがほしい
- 気軽に勉強できるところを増やしてほしい
- 学校行事などを市のSNS等で告知してほしい



まちづくり

- 信号がない所が多い
- 横断歩道が少ない
- 視界が悪い所がある
- 道路の白線が見えづらい
- 自転車レーンを設置してほしい

2025年
8月22日(金)

中学生模擬議会



『わたしが考える未来の大野城』

大野中学校



阪本 恵美		ゴミ箱の問題 (ゴミ箱が少ない? ゴミ放置問題)
横石 琉衣		交通安全施設 (カーブミラー、自転車専用道路)
高野 麟太郎		防犯灯と防犯カメラ (暗い道や公園での安全)
森 千隼		公園の遊具 (運動できる遊具で育つ子どもたち)

永田 奏輔



市のゴミ削減 (再び住みやすい街1位に)

平田 一樹



子どもたちの遊ぶ場所 (外で遊びたくなる公園)

森山 愛



学校の選択制給食 (牛乳だけの生徒、毎日パンの生徒)

新地 真優



交通安全問題 (交通事故発生率を全国平均より低く)

大野東中学校



大利中学校



江頭 慶		高校生の医療費助成 (迷うことなく病院に行きたい)
大宅 瑚々奈		学生の登下校の仕方 (登下校のマナーや交通安全教室)
御領 こはる		もっと大野城市を知ってもらおう! (充実した情報発信)
福本 朔次郎		公道での自転車使用時の課題 (自転車通行帯設置等)

中原 倫士



犯罪率を減らす (挨拶やコミュニケーションの大切さ)

筒井 絆愛



子ども食堂による地域交流の拡大 (実施日等の統一等)

吉田 光里



学習環境の強化とサポート (学習スペースの確保等)

水谷 晴一



より参加しやすい地域行事 (企画や情報発信等)

平野中学校



御陵中学校



定 奏太郎		不登校問題 (起立性調節障害への理解)
崎 颯真		ごみから変える環境 (ECOチャレンジ等の取組と周知)
太田 悠晏		魅力的な公園 (インクルーシブ遊具設置)
久保田 幸羽		コミュニティバス (運行増便や料金見直し)

9月定例会

委員会レポート

代表質問

一般質問

議会報告会

中学生模擬議会



作品介绍

イラスト



(白木原 ミドリさん)



(上大利 七海さん)

短歌

- コーヒーを冷房の中で飲んでいる 先進国のぜいたくな夏
- みんなが夏の透き間を埋めてゆく 入道雲に続く坂道
- 白百合が悲しむように首たれる 八月十五日日本が泣いた日
(若草 高名 楡さん)
- 爽やかに歌う先生おちかよこ乙金台の音楽サロン
- 急ぎ足夕焼け小焼け坂のまち『どんぼの森』を見下ろしながら
- 日暮れ道奇しき灯りに止めた足『どんぼの森』の祭典覗く
(乙金台 泉 満夫さん)
- 梅雨空のうぜんかずら 鮮やかに 心とみて 巡る彩り
- 戯れる 氷とグラス 音を奏で 涼しさ運ぶ 夏の夕暮
(つじヶ丘 松野直美さん)
- 山間のもみもの紅葉 せせらぎの 鳥の鳴き声 沢カニ見つけ
- デイサーピス 仲間と語る ひとときの 故郷こいしく 元気でリハを
(白木原 ミドリさん)
- 年の暮れ 急ぐ足音 気せわしく 迎える年の 平穏祈る
- 幸せは 手の平サイズで 欲ばらず 望みすぎれば こぼれて落ちる
(乙金台 小野敬子さん)

川柳

- 移り気や心ころころいまむかし
- 謎めける 釜蓋 牛頸 畑詰め
(乙金台 泉 満夫さん)
- 白寿まで道草の道つづく道
(乙金台 泉 満夫さん)

俳句

- 歩き疲れて過ぎるあぜ道草紅葉
(乙金台 泉 満夫さん)
- 両親に会へたや妹 盆の月
- サイレンを合図黙禱終戦日
- 朝蟬や今日も晴なる日の句ひ
(牛頸 西山光教さん)
- 魂を 揺ぶるお盆 蟬の声
- 燃えつくす 想い秘めたる 彼岸花
- 吸いこまれ トンネルくぐり 秋の風
(つじヶ丘 松野直美さん)
- 月下美人 母の電話に 靴の山
- チュリップ 空を見上げて 大欠伸
- 末まごが 大きな返事 入学す
(雑餉隈町 眞崎國子さん)

作品掲載希望者募集

- 募集作品
 - ・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど
- 応募方法 住所、氏名、電話番号を記入して、
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号
Tel. 580-1938

みなさんからいただいた作品をそのまま紹介します。今回は8月～10月に募集した作品です。

- 注意事項
 - ・未発表のものに限ります(新カナ、旧カナは問いません。)
 - ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
 - ・提出された作品は、返却しません。
 - ・ペンネームでも可とします。
 - ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。あらかじめご了承ください。

応募締切
2月15日号
掲載は
12月26日
まで

小・中学生からの応募もお待ちしております

広報委員会

- | | | |
|------|-------|-------|
| 委員長 | 河村 康之 | 河村 一朗 |
| 副委員長 | 中村 慎一 | 中村 也 |
| 委員 | 森 和 | 森 真 |
| 委員 | 中 利 | 中 恭 |
| 委員 | 永 利 | 永 一 |
| 委員 | 河 野 | 河 敏 |
| | | 河 生 |

あんてな

今年も、もうすぐクリスマスがやってきます。クリスマスは、イルミネーションやプレゼント交換など、家族や友人と過ごす冬の大きなイベントです。良い子の皆さんは、サンタさんに何をお願いするのでしょうか。

ニューヨークの郵便局員たちは、地域の人々と協力してサンタクロースになり、貧しい家庭の子どもたちにプレゼントを贈る活動を百年以上も続けているそうです。

クリスマスは「戦争や争いをやめ、人々が心をひとつにする日」とも言われています。サンタさんがプレゼントと一緒に思いやりと愛情を届け、子どもたちの願いを叶えて世界中に笑顔があふれますように。
(森 和也)